

## 景気悪化の影響はシステム開発現場にも波及 事業凍結によるシステム開発需要の大幅減

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

### 【システム開発について】

ますます進む景気の悪化に伴い、システム開発・投資に関する企業の姿勢が変化しているように感じます。

まず一つ目の変化は、費用対効果がこれまで以上に求められているという点が挙げられます。技術者に関しては、紹介されるプロジェクトで必要となる技術のスキルが高い人が求められており、比較的需要の多いプロジェクトリーダーやシステムエンジニア（SE）でさえも、需要より供給が多いためか、プロジェクトに必要な技術のより詳細なスキルの条件が設定される傾向にあります。またシステム開発予算の上限を明確に決めている企業が増えています。これまでは多少予算を超えても自社の要件に合致していれば開発を行うこともありましたが、最近では予算額に収まる範囲内の要件の開発しか行わず、予算を超える場合はいったんその開発要件に関しては保留もしくは自社内で実施する企業が増えてきています。

二つ目の変化は、信用リスクに敏感になっているという点です。システム開発会社では、現在のところ直接的に景気後退の影響をあまり受けてはいないのですが、不動産会社の倒産続発など社会的な背景から、銀行からの借り入れが難しくなるのではと感じている企業も多いと伺います。そのため取引先の信用力にかかわらず支払サイトの短縮を求めたり、外注企業にはサイトを長めにするよう求めたりという現象が生じています。また倒産リスクの高い情報がある企業に対しては、すぐに債権回収が図る企業も出てきています。実際に、企業の倒産により請負案件の債権回収が行えないケースもあると聞いています。

### 【個別業界のシステム開発状況について】

製造業については、半導体関連事業の厳しい状況により事業を凍結する企業が多く、そのシステム開発需要が減退しています。またそれ以外でも、全社的な会計システムなどの業務管理システムのリリース案件が急遽凍結するという事態も起きています。これらは景気の先行きの厳しさが影響していると思われます。

金融機関については、システム開発プロジェクトが中止や予算の縮小が多発している状況が引き続いております。

広告関連業については、夏ごろから顕著になった広告営業の低調により、関連システムの開発要員が待機している状況が続いています。そのため開発要員の調整を実施している企業もあります。

IT業においては、これまで外注要員を大量に採用してシステムを構築していたような企業が内製化を進める傾向にあります。また、新ビジネスのためのシステム開発を凍結する企業もあります。これらの現象は特にインターネット関連企業においてその傾向が顕著に表れています。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

### 【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7855 / E-MAIL：[info@bbbreak.co.jp](mailto:info@bbbreak.co.jp)